

「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

12月は「人権月間」です。10日の「人権デー」を最終日とする4日からの1週間を「人権週間」としています。コロナ禍でさまざまな人権侵害や差別事象が起きています。人権侵害は、見えない心の傷を負ってしまいます。一人ひとりが毎日を幸せな生活が送れるよう、お互いに思いやりを持って過ごし、互いに励まし合い「人権が尊重され、生きがいを感じられるあたたかいまちづくり」を推進しましょう。

子ども人権教室活動 ～「突きでっぽうづくり」、「万華鏡づくり」、「アマビエづくり」、「星空探検」～



▲突きでっぽうづくり

竹で作る突きでっぽうは、飛び出る時の音が甲高く、空気の押し出す力で玉を突き出します。



▲万華鏡づくり

万華鏡は、不思議な模様が見られる遊具です。スコットランドの物理学者が発明しました。



▲アマビエづくり

アマビエは、昔、熊本の海に現れ、疫病退散に活躍した妖怪とされます。それぞれユニークな作品ができました。



▲星空探検

19時から行った星空体験では、南の空に木星の縞模様、土星の輪が見えました。12月中は西の空で観測できます。

☎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎52-5860

八 火 図 書 館 だより

今年1年、皆さんはどんな本との出会いがありましたか。12月は、今年読んだ本を思い返したり、1年を締めくくる読書を楽しんでみませんか。来年もみなさんに素晴らしい本との出会いがありますように。

新 着 図 書			
一 般 書		児 童 書	
三千円の使いかた	原田 ひ香／著	ロサリンドとこじか	エルサ・ベスコフ／作・絵
変な家	雨穴／著	なんだろう なんだろう	ヨシタケ シンスケ／作
さよならも言えないうちに	川口 俊和／著	おかあさん ごめんなさい	みやにし たつや／作・絵
計略の猫	風野真知雄／著	ふしぎ駄菓子屋銭天堂	廣島 玲子／作



新着図書おすすめの一冊

三千円の使いかた 原田 ひ香／著（中公文庫）

「人は三千円の使いかたで、人生が決まるよ。」
突然の入院、離婚、介護費…。御厨家の女性たちは、人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか。知識も深まる「節約」家族ストーリー。100万円貯まる？ 楽しい節約アイデアも満載！



施設紹介～竜北歴史資料館～

竜北歴史資料館は、北鹿野地区の内田康哉旧居跡に建てられており、広い庭と池に囲まれた静かな環境の中にあります。

郷土の貴重な歴史資料を収めた展示室、ホール、図書室、和室があり、子ども向けの本から、話題になっている本も揃えています。



【お問い合わせ先】 八火図書館 ☎62-3489

地域学校協働本部だより Vol.13

「氷川町地域学校協働本部」は、地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支えるとともに、地域に開かれた教育課程支援などの活動を行っています。



9/13 梨畑で収穫体験とお手伝い ～竜北東小5年生～

梨部会や地域の生産者、保護者のみなさんにご協力いただき、総合的な学習の一環で、町の特産物「吉野梨」の収穫体験と、子どもたちができるお手伝いをさせていただきました。

梨の種類や1年中作業があること、それぞれの梨の特徴などの説明を聞いた後に行った収穫体験では、みんな初めてで、ドキドキした様子でした。他にも袋から梨を出す作業や梨を詰める箱作りなどを行いました。子どもたちは、「きつかったけれど、楽しかったです。」と大喜びでした。



9/28 梨ジャム作り ～竜北東小5年生～

総合的な学習の一環で、先日の収穫体験でいただいた梨を使って、「梨ジャム作り」に挑戦しました。

まずは梨の皮をピーラーでむき薄切りにします。その後、細かく刻んだ梨にグラニュー糖をかけ、弱火でゆっくり焦がさないように梨をまぜていきました。水分を飛ばしながら好みの固さに仕上げていくと、家庭科室は甘い梨ジャムの香りに包まれました。子どもたちからは、「おいしそう」、「早く食べたい」という声があがりました。



10/21 黄金色の田んぼで稲刈り体験 ～宮原小5年生～

6月に田植えをさせていただいた元田さん(有佐)の田んぼで、稲刈り体験をしました。小雨の降る中での作業となりましたが、元田さんに手順を教えていただき、一株ずつ鎌で刈っていきました。

その後、氷川ツーリズムのみなさんにご指導いただき、「足踏み脱穀機」での脱穀を体験しました。子どもたちは稲穂一束をしっかりと両手に持ち、力強く回転する脱穀機に穂先を当てて脱穀しました。



10/21 世界に1つ! 自分だけのお気に入り ～氷川中2年生～

氷川町婦人会や地域の皆さんにミシンサポーターとしてお越しいただき、家庭科の授業でペンケースとブックカバーを作りました。

両作品とも2枚の布を合わせ、既定のサイズに型を取って制作します。また、ボタン付けやフェルトを使って、好きなマークを手縫いでつけていきました。

普段あまりミシンを使わない子どもたちですが、ミシンサポーターの丁寧な指導のもと、スムーズに仕上げることができました。子どもたちは、出来上がった作品を、何に使うかそれぞれ考えていました。



【お問い合わせ先】 生涯学習課 生涯学習係 ☎52-5860